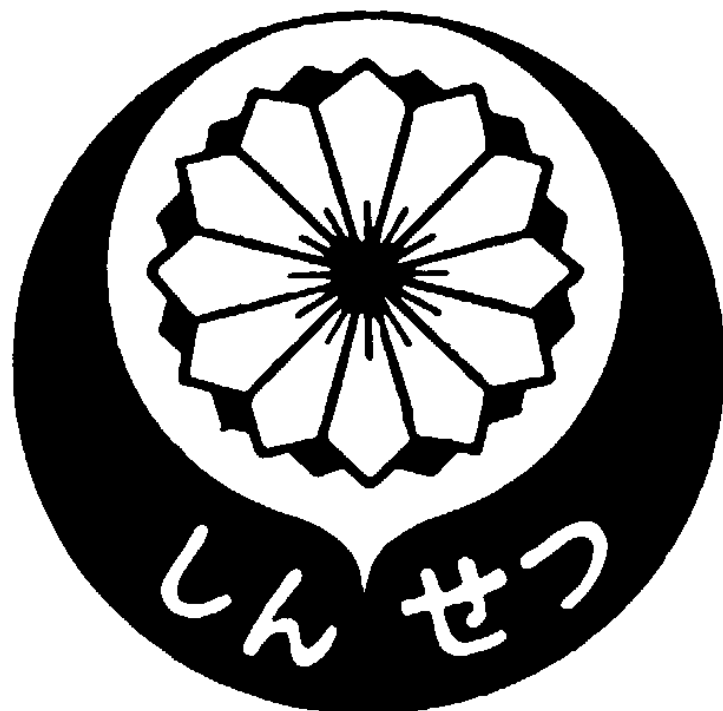


**八王子市親切会  
60年のあゆみ**





このマークは、親切運動を象徴するマークです。  
両手を上向きに丸く合わせた形の中に「やさしい心」という  
花言葉をもつ「やぐるま草」を図案化したものです。

## 親切憲章

昭和39年5月、私たちの街八王子市は親切都市を  
宣言しました。

私たちは、この世界で最初の親切都市の市民である  
ことに誇りと自覚をもって、この憲章にかかげられた  
親切運動の目標を実行し、住みよい街の実現に努力  
いたしましょう。

- 親切を心の花として育てましょう。
- 親切な心を誰にでも贈りましょう。
- 親切な心には感謝の心で応えましょう。
- 親切で心と心を結び合いましょう。

## ■ 目次 ■

60年の思いをつないで 会長 石森 孝志	1
1. 親切会の設立と経緯	3
親切運動の始まり	4
親切会の結成へ	4
親切都市宣言	6
2. 親切会の事業	9
親切傘	10
親切募金	11
親切表彰	12
啓発活動	13
3. 親切会60周年に寄せて	15
八王子市親切会設立60周年を祝して 副会長 三浦 眞一	16
親切の心をいつまでも 副会長 秋間 利久	17
思いやりの心を大切に 副会長 岡本 夢乃	18
八王子市親切会60周年にむけて 副会長 赤澤 将	19
「親切会」～親切の輪を引き継ぎ未来へ 副会長 細谷 幸男	20
五輪から五輪へ 受け継がれる親切運動 賛助会員 海老澤 信一	21
4. 親切作文	23
5. 令和3年度親切表彰 受賞者インタビュー	37
団体の部 本立寺	38
個人の部 秋葉台小学校 2年生4名	40
6. 資料編	43
八王子市親切会定款	44
しんせつの歌	48



## 60年の思いをつないで

八王子市親切会

会長 石森 孝志

八王子市親切会が60周年を迎え、これまで各分野において親切な行為を実践してこられた多くの皆様に、心から敬意を表します。また、会の活動に御尽力いただきました関係者の皆様に、厚く御礼申しあげます。

親切会は、「親切で明るいまちづくり」を目指して、昭和36年(1961年)に発足しました。昭和39年(1964年)には、東京オリンピックをきっかけとして、親切運動をさらに大きく展開させるべく、八王子市として「親切都市」を宣言し、その後長きにわたり、親切運動を続けてまいりました。

令和2年(2020年)の1月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常の生活が一変し、誰もが不安な日々を送っていますが、そのような中においても、隣人を思いやり、あたたかい心で親切な行為を続けている方々がいらっしゃいます。親切会では毎年、日々の生活の中での親切行為をたたえ、感謝の気持ちを表すため、親切表彰を行っています。受賞者は、令和3年度(2021年度)で、個人が延べ4,377名、団体が延べ507団体となりました。これほど多くの方々が思いをつなぎ、60年を経ても「親切の輪」が広がり続けていることはとても誇らしいことであり、会長として嬉しい限りです。

災害など、思いもかけない出来事に見舞われることが多い昨今ですが、このような時代だからこそ、互いを思いやる気持ちは大切です。誰かのための小さな親切は、つながり積み重ねることによって、居心地のいいまちをつくっていきます。多くの人が訪れたい、住み続けたいと思うまち「八王子」であり続けるため、これからも皆様とともに「親切の輪」を広げていきましょう。





## 1. 親切会の設立と経緯

---

## 親切運動の始まり

---

古くから甲州街道の宿場町として、また、織物の町として栄えてきた八王子市。昭和34年(1959年)、首都圏整備法により、市街地開発区域の指定を受けて工業団地が相次いで造成され、大小さまざまな工場が一斉に操業を開始し、大規模住宅が建設されるなど、著しくまちの様相が変わっていきました。また、転入などにより新しい住民を迎えることになり、古くからの住民との間の調和が損なわれるような雰囲気生まれ始めました。

このような時期に、当時の植竹圓次市長が財政再建と精神的融和の二大目標を掲げ、「明るく住みよい都市づくり」を目指し、外に向かって大きく誇れる市民特性、八王子市の都市の特性、八王子市民であるという固有の誇りを市民一人ひとりが身に付ける必要があると考え、親切運動が企画・立案されました。

それは、人と人との交わりに欠くことのできないいたわりあいの心と呼びかけ、そこに住む人々の心を喚起し、「郷土を愛する個々と、他人を思いやる心」を提起する運動であり、「親切で明るいきれいな町づくり」を目指したものでした。

その背景には、3年後、東京オリンピックの一種目・自転車競技が八王子で開催されることがありました。「地理の不案内で言葉がわからない外国人選手をいたわり、オリンピックという歴史的な競技を最高の環境の中で実施させよう」と、八王子市民をあげての親切を世界から集まる人々に、素直に実践することを夢みたものでした。

## 親切会の結成へ

---

親切運動の推進母体となる親切会設立に向けて、昭和36年(1961年)6月8日、各界代表を集め、設立準備委員会を開き、親切会発足に向けて第一歩を踏み出しました。その後、8月初めの第2回準備会において、発会に向けての大綱等が内定され、同年8月24日、八王子市親切会の結成式が行われました。

結成式は貿易会館で行われ、350人が出席するなか、定款、事業計画、予算、役員等が決定され、かねてより発会に向け募集した親切標語が発表されました。

## 八王子市親切会 結成式の決定・発表内容

### 一 発会当初の事業計画

1. 表彰  
社会生活に埋もれた心温まる善行に対して、その行為者を表彰
2. 親切運動強調週間  
親切心の啓発と高揚を図る。
3. 会誌の発行
4. 親切募金箱の設置
5. 環境美化運動の推進
6. 友好団体との協力

### 一 入選された親切標語

- 親切は八王子市の合言葉
- 親切は誰にも出来る贈りもの
- 親切で作る良い町良い家庭
- 親切の花を咲かそう町いっぱい
- 親切で築くよい町八王子



## 親切都市宣言

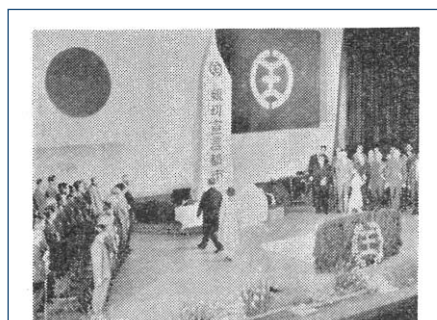
昭和39年(1964年)5月9日、東京オリンピックを前に、八王子市が昭和36年(1961年)から続けてきた「親切運動」をさらに一步深め、市民ぐるみで「親切で明るい街・八王子」を築き上げるため、宣言されました。

昭和36年(1961年)8月の親切会結成以来、各種の実践活動が続けられ、「『親切都市』を宣言するには、それにふさわしい力をつけてから」という誓いを達成し、秋にオリンピック自転車競技が開催されることをひかえて、親切運動が平和と友好を願う世界の人々の心を打ち、世界平和の基となることを信じ、「親切都市」宣言となりました。



(上)市民会館で行われた「親切都市宣言市民大会」のようす。

(下)大会に向け、市民による行進が行われた。



### 親切都市誕生

#### 親切運動みのる

三年前から着々と進められてきた親切運動は市民の協力によって、遂に五月九日市民会館で親切都市宣言市民大会をするにいたりました。午後二時二十七分植竹市長が、本市を親切都市とすることを力強く全世界に向けて宣言、万雷の拍手をあげました。  
(写真、親切宣言都市誕生の瞬間)

昭和39年6月12日発行の広報「はちおうじ」第161号より抜粋。親切都市の誕生は、当時の広報紙にも掲載された。

## 八王子市親切都市宣言

私たちの愛する郷土八王子市には、いま槌音高く道路に、学校に住宅に、そしてオリンピック競技場に空前の大建設が始まっております。

これらの新しい街づくりに太陽のような温かい光を吹きこむものとして、私たちは三年前から全市をあげて「親切運動」を進めてまいりました。

ことしは特にこの八王子で世紀の祭典といわれる東京オリンピック自転車競技が行われ「世界は一つ」の合言葉と共に銀輪の覇権が競われます。

この機会に私たちは、多年の念願である親切運動を一層強く大きく展開し、その賛同を世界に得たいと思います。

日本の一角にあがるこの小さな運動は、平和と友情をねがう全世界の人々の心をうち必ずや地上にみち満ちて、世界平和の基となることを信じ、ここに八王子市を「親切都市」とすることを宣言します。

昭和39年5月9日（八王子市）

(右)市民大会で壇上に飾られていたモニュメント。

(下)昭和45年頃の八王子駅北口の様子。

右手に「親切宣言都市」の塔が建っている。





## 2. 親切会の事業

---

## 親切傘

外出先などで突然の雨に降られ、困って空を見上げたことが誰にでもあると思います。そんな時、困っている方に利用してもらおうと、昭和37年(1962年)6月、市内4箇所の駅(JR八王子駅、JR西八王子駅、JR高尾駅、京王八王子駅)に400本の黄色い親切傘を設置しました。現在、置き場所は市役所や図書館などに変わりましたが、約70箇所の公共施設に親切傘を設置しています。



設置当時の親切傘

設置開始以来、傘の少ない場所への補充や傷みがひどいものの交換などを行いながら、60年間で2万本以上の親切傘を作り、皆さんにご利用いただきました。現在は、市民の皆さんから寄付された傘や忘れ物等を再利用した「リサイクル親切傘」も活躍しています。親切傘と同様に、お気軽にご利用ください。



### 親切傘にはこんなエピソードも……

昭和39年(1964年)、東京オリンピックが開催され、八王子市でも自転車競技が行われることとなり、選手村の分村が設置されました。入村した選手たちが、秋の長雨に困っていると聞き、早速親切傘を置いたところ、大変喜ばれました。親切傘が国際親善の重責を立派に果たしてくれました。

### 親切傘 設置場所

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| ○市役所本庁舎    | ○地域子ども家庭支援センターみなみ野 |
| ○各事務所      | ○各児童館              |
| ○各市民センター   | ○心身障害者福祉センター       |
| ○長房ふれあい館   | ○恩方老人憩の家           |
| ○クリエイトホール  | ○中央図書館             |
| ○いちようホール   | ○南大沢図書館            |
| ○南大沢文化会館   | ○夕やけ小やけふれあいの里      |
| ○学園都市センター  | ○富士森体育館            |
| ○夢美術館      | ○エスフォルタアリーナ八王子     |
| ○川口やまゆり館   | ○甲の原体育館            |
| ○保健所       | ○教育センター            |
| ○各保健福祉センター | ○生涯学習センター南大沢分館     |
| ○あったかホール   |                    |



現在の親切傘



## 親切募金

親切募金の理解と協力を呼びかけるために設置した親切募金箱は、市民の方々と親切会を結ぶ窓口として、大切な役目を果たしています。この募金箱は、「親切募金箱」と書かれたもので、駅や公共施設など、25箇所に設置し、皆さんからの募金をお願いしています。

設置以来、定期的に募金して下さる方や、寄附も寄せられるなど、多くの方の真心の結晶が積み重ねられています。寄せられたご厚意は、親切運動の貴重な運営資源となっており、「親切で明るいまち八王子」に向けた大きな力となっています。

### 募金箱 設置場所

- 市役所本庁舎
- 八王子駅南口総合事務所
- 各市民センター(みなみ野分館を除く)
- 夕やけ小やけふれあいの里
- 道の駅八王子滝山
- JR高尾駅北口
- JR西八王子駅北口
- 高尾山ケーブルカー清滝駅
- 高尾山薬王院



(上)設置当時の募金箱  
(左)現在の募金箱

## 親切表彰

世の中には、親切な行いをしている人がたくさんいらっしゃいます。しかし、親切というものは、社会生活の中では、ごくわずかな例外を除いて、表面にはなかなか出にくいものです。そこで、社会の中で埋もれている、心温まる親切に感謝しようと、「広報はちおうじ」で市民の皆さんから広く推薦をお願いし、親切な方の表彰を行っています。

昭和37年(1962年)5月に第1回の表彰を行ったときには、30名の方が環境美化や社会福祉などの分野で受賞しました。その後は年々増加し、令和3年度(2021年度)で個人が延べ4,377名、団体が延べ507団体にも及んでいます。これからも、まちのあちこちで見受けられた小さな親切行為に対し、表彰をしていきます。

### 親切行為種別の分類基準

- 公共生活への貢献  
公共物の愛護、公衆道徳の普及・実践、公共の利益となる工夫・研究、その他公共社会・公共団体・地域・学校・職場などのためにつくした行為
- 事故防止  
交通整理・水難防止・その他事故防止につくした行為
- 環境美化  
清掃美化、その他環境美化・環境衛生につくした行為
- 青少年指導  
子供会の指導、青少年の教育・補導・非行少年の善導など
- 社会福祉  
社会福祉施設又は不遇の人たちへの慰問激励各種奉仕・金品の寄附、その他社会福祉につくした行為
- 隣人への徳行  
隣人・友人など特定の人に対する援助・徳行など
- 個人生活の徳行  
家族又は親族間における徳行、個人的勤検力行などで特に顕著なもの
- 防犯  
犯人逮捕への協力などで特に顕著なもの、その他防犯につくした行為
- 防火  
火災の発見、通報、消火で特に顕著なもの、その他防火につくした行為
- 人命救助  
人命の救助、救急看護などで特に顕著なもの
- その他  
以上にあてはまらない親切な行為



## 啓発活動

### 一親切運動推進月間（昭和36年～昭和49年）

親切な心は、時や場所を選ばず、常に心掛けなければならない大切なものですが、時として、慌ただしさに取り紛れてしまい、失いがちになってしまうものです。そんな親切心の高揚を呼びかけるため、年末の慌ただしい時期を「親切運動推進月間」として設定し、親切心の啓蒙を行いました。

期間中は親切会役員を先頭に、ミス八王子(当時、八王子まつりで行われていたミス八王子コンテストの優勝者)を伴って、市内の官公署や事業所、病院など様々な職場を訪問しながら、標語入りのポスターや親切リボンを配付し、いたわり合いの心の呼びかけを行いました。また、警察署や地域の女性団体などの協力を得て、市の広報車により街頭宣伝を行うほか、道行く人々に風船等を配り、親切心を啓発しました。さらに、各所に親切標語入りの立て看板の設置、市役所本庁舎前に懸垂幕の掲出、商業施設の電光掲示板の利用、各地域の美化活動への協賛など、あらゆる手段を活用して、親切運動の普及や紹介に努めていました。

この親切運動推進月間の活動は、毎年恒例行事として、年の瀬の話題になるほど市民の皆さんに浸透していきましたが、昭和49年(1974年)をもって中止となりました。



### 一街頭啓発（昭和62年～）

毎年11月に甲州街道で開催される「八王子いちよう祭り」においてブースを出店し、親切運動の普及を行っています。地域の高校生ボランティアにも協力いただきながら、来場した皆さんに親切会のパンフレットや親切会マークの入ったマグネットやティッシュペーパー、バルーンアート等を配布するとともに、街頭募金活動を実施しています。



### 3. 親切会60周年に寄せて

---

## 八王子市親切会設立60周年を祝して

副会長 三浦 眞一

八王子市親切会が設立60周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。これも歴代の関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物と、厚く御礼申し上げます。本会が設立40周年を迎えた際にも、親切会の理事として記念誌に寄稿しており、20年もの歳月がこんなにも早く過ぎ去ったことに大変驚いております。

60年前、全国に先駆けて「親切都市宣言」を行った八王子市では、多くの市民の皆様や様々な地域団体が社会の中で「親切」を実践し、地域コミュニティの形成やまちづくりに貢献されてきました。今もなお、多くの方が市内各地で「親切」を実践されており、設立当時から行っている「親切表彰」においても、毎年様々な活動が表彰されています。これは、郷土を愛し、他人を思いやる心で明るいまちを築こうという、設立当時の想いが脈々と受け継がれていることの表れであると強く感じております。

しかしながら、設立から現在に至るまで社会は大きく変化し続けており、私たちはかつて想像できなかったような多くの課題に直面しています。特にここ数年は、コロナ禍により私たちの生活は一変してしまいました。人と人の結びつきが薄れ、不安を抱えながら過ごしている方もいらっしゃると思います。そういった日々の中で、人を思いやる心、誰かに手を差し伸べる心、そのような「親切心」が、このコロナ禍を乗り越えるためにもより一層、大切なものとなっているのではないのでしょうか。そして、設立60周年を迎えた今、この「親切心」の輪をより広げ、さらに明るく住みよいまちを築いていくことの重要性を改めて広く発信し、実践していくことこそが、八王子市親切会が果たすべき役割なのではないかと思えます。

結びに、親切運動の精神が末永く引き継がれていくとともに、今後の益々の発展を祈念して、お祝いの言葉といたします。

## 親切の心をいつまでも

副会長 秋間 利久

八王子市親切会60周年記念誌の発行にあたり、これまで「八王子市親切会」の活動にご理解とご支援を賜りました多くの皆様並びに本会の運営にご尽力されています関係機関の方々に、心から敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

本会も発足以来、60周年を迎えました。この間、様々な活動を展開する中で、親切募金箱を通じお預かりした資金等で購入した親切傘を利用された方から、「急な雨で困った時、目に留まった黄色の傘に救われた」など感謝のお声を頂くたびに、心と心をつなぐ「親切心」の大切さを感じております。

昭和36年「郷土を愛する心、他人を思いやる心」を育て、親切で明るいまちを築くことを目的に本会を結成しました。昭和39年5月八王子市は「親切を心の花として育てましょう」「親切な心を誰にでも贈りましょう」「親切な心には感謝の気持ちで応えましょう」「親切で心と心を結び合ひましょう」を柱に親切憲章を掲げ、親切都市宣言を行い、現在に至っています。

本会の取り組みにある「親切表彰」を行うたびに、市民の皆様には、「郷土を愛する心、他人を思いやる心」が定着していると嬉しく思っております。

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症は、未だに収束の兆しが見えず、感染症の脅威と戦う厳しい日々ですが、自分が出来る範囲で、助けを求める方を支援すること、或いは、人を思いやる心を持ち続けることは大切ではないでしょうか。私自身、困っている方を見かけ、声をかけてみますと、道に迷った、道路の段差があり車いすが上がらないなど、私で出来ることが沢山ありました。どんな些細なことであっても、ご自身が出来る「親切」の気持ちを何かしらの形で表すことで、人と人との心は通じあうものと強く信じています。

先代から継承され60年続いた「親切」の心が、困難な時代にあっても、未永く、多くの方に引き継がれますことを祈念しております。

## 思いやりの心を大切に

副会長 岡本 夢乃

親切会が発足60周年を迎えられました事お慶び申し上げます。先人の方々が親切で明るい街を築き上げる為、継続してこられたご尽力に敬意を表します。発足当時、市民の皆さんは安全で明るい街づくり、自然の中で子ども達に豊かに育ててほしいとの思いで、町会・自治会、子ども会、PTAなど、様々な組織を作ってきたそうです。私は八王子市子供会の代表として、親切会に関わらせていただいております。子ども会も昨年60周年を迎えました。昭和、平成、令和と移り変わりと共に便利な世の中になりましたが、人とのつながりが希薄になり、当時町会に加入すると子ども会に入ることが受け継がれていましたが、現在は町会・自治会、子ども会に加入する人が少なくなりました。子どもの頃の体験は、子どもの成長期に必要な異年齢の子ども達と交流し、自然の中でのびのびと過ごし、人と関わる事で、弱者に対する思いやりの心や協調性を身に付ける事ができます。現代社会は豊かで便利な時代になりネット、SNSやスマートフォン等の普及により一人遊びが増え、子どもの成長期に必要な人との触れ合いが少なくなっています。また、いじめや、子どもによる犯罪の低年齢化が問題になっています。そして令和に入り、コロナ禍は今までに経験したこともない事で、子どもも大人も人とのふれあいが減少し、孤立しています。親切会の60年の歴史の中で、多くの方が表彰されました。八王子には多くの人に対する思いやりの心、親切心を持っている人がいることは素晴らしい事です。市民一人ひとりが「親切で明るい街八王子」の宣言を心に刻み、未来を担う子ども達にせなかを見せていただきたいと思います。市民の皆さんが思いやり心を持って明るい、住みやすい街づくりをこれからも継続して行って下さる事を願います。



## 八王子市親切会60周年にむけて

副会長 赤澤 将

八王子市親切会が発足以来、ここに記念すべき60周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。これまで親切運動にご尽力されてこられました関係各位、諸先輩の皆様方のご労苦に対し、深く敬意を表したいと思います。

親切会の活動が始まりました60年前と比べて、現在の社会問題や経済環境も大きく変化しております。高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。

国では、暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、これを再構築することで、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会「地域共生社会」の実現を目指しております。

その中にあっても「郷土を愛する心、他人を思いやる心」を育て親切で明るいまちを築こうという親切運動の精神は不可欠なものであると考えております。

また、昨今は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人と人のふれあいが希薄になり、孤立、孤独感が強まっているような時代にあり、親切会が心掛けております「他人を思いやる優しい気持ちを持つことや相手のことを考えて行動すること」という理念は、家族や地域の人々の感染予防につながる行動の一役を担っているのではないかと感じます。

今後も親切会の持つ意義や活動を広く周知し、この運動を継続し、明るく住みやすいまちづくりにお互いに協力して取り組んでいきましょう。

結びに、八王子市親切会が60周年を迎えられ、益々のご発展とご提唱されている運動の精神の継承が、円滑に図られることを祈念いたしましてご挨拶いたします。

## 「親切会」～親切の輪を引き継ぎ未来へ

副会長 細谷 幸男

八王子親切会が発足60周年を迎えるにあたり、心からお喜び申し上げます。半世紀を超える長い歴史と伝統を継承され実績を残されたことは、この間携わった多くの関係者皆様のご尽力の賜物だと存じます。

今は、多様性の時代とも言われ、60年前とは人々の考え方や価値観など大きく様変わりしています。プライベート、個人情報保護などの言葉も飛び交い、何かと気遣いの多い、世知辛い世の中だとも言われるようになりました。そこでこのような現状を打破するために、「親切会」が歴史と伝統に則り、築き上げた「親切都市宣言」の親切運動があてはまるのではないのでしょうか。八王子市民の心の豊かさをアピールできる、活動を広めるにも絶好の機会となります。それには、「親切会」の存在自体を市民の方々に周知させるとともに、特に「親切表彰」については、多くの老若男女にご理解いただくことが重要です。日常で感じた何気ない優しさ、思いやり、またボランティア活動に対し、「心に感じ、出会った親切」として、その行為を気軽に推薦いただければと願います。多くの表彰者を得ることで、親切の輪は広がっていきます。これからは、若い世代の皆さんのご理解、ご支援を得ることが必要であり、共に次の70周年を目指し、先人の歩みを引き継いでいかなければならないと思います。

## 五輪から五輪へ 受け継がれる親切運動

賛助会員 海老澤 信一

冬の積雪予報など天気の話で良く注目される八王子ですが、突然の夕立や雷雨に足止めされ困った経験のある夏も印象的です。今夏も市内でいきなり強雨に打たれ近くの市民センターに入って親切会の親切傘に助けられました。本当に有難いことです。こうした親切会による親切運動は昭和39年(1964年)の一度目のオリンピックよりも前、昭和36年(1961年)に始まり親切傘は海外からの五輪選手へも贈られて大いに喜ばれたと聞きますし、その親切傘を大切に母国へ持ち帰った選手もいたという話は実に感動的ですからあります。

また近年においても、市内上野町の本立寺さんの若いお坊さんらが中心となり、ワクチン接種予約で困っている高齢者に対してサポートを行い親切表彰されるなど、八王子市の親切都市宣言の心は昔も今もしっかりと生きていますと感じました。

さて、令和3年(2021年)二度目の東京オリンピックが開催され、八王子においては前回と同じく自転車ロードレースの会場となりました。私も親切運動の一つとして大会運営サポーターとなり、市内堀之内・南大沢地区を担当。大会会場となる道の沿道に立って交通整理やレースを観戦される方々への誘導案内に従事しました。

大勢の方が見守り無事にレースが進行する中において行った市民の方への声かけ行為、その短いお声がけ一つで感謝され、ありがたい言葉を頂いてお互いがとても優しい気持ちになれたものです。

一度目の東京オリンピックから今回二度目の東京オリンピックへ。その間、このおもてなし精神の親切運動がずっと受け継がれている八王子市を私は誇りに思い、未来永劫、いつまでも大切にしていきたいと思っています。



## 4. 親切作文

---

親切会60周年を記念して、市内の小学4年生から6年生までの児童を対象に、日頃感じている「親切」をテーマに、作文を募集しました。応募された作文を紹介します。

---

## 心が温かくなった

館小学校 4年 梨本 紗良

---

みなさんは親切にしてもらって、心が温かくなったことはありますか？私はたくさんあります。たくさん親切にもらった中で、一番心が温かくなった親切についてしょうかいします。

それは、転んでしまった時に友達がほけん室まで連れていってくれたことです。転んで足から血がでて、痛くてなかなか歩けなくて、困っていた時に、

「大丈夫？ほけん室まで行こうか？」

と心配して手をかしてくれたので、とても助かりました。そして、いままでにないくらい心が温かくなりました。なので、他の人が転んでこまっていたら助けてあげようと思いました。みなさんもだれかが転んで困っていたら、ぜひ助けてあげてください。きっと相手も心が温かくなると思います。

だれかに親切にすると、自分にも親切がかえってきます。私はだれかに親切にすると、ああやってよかったなど自分も心が温かくなりました。でもやっぱり意しきして親切にするより、意しきしなくても自然に親切ができる人になりたいと思いました。

---

## 親切は、されてもしてもいい気持ち

由木西小学校 4年 根釜 心花

---

親切は、されたらとても気持ちがいい。親切は、してもいい気持ち。それはうれしい気分になったり、よろこんだりするから。親切は、ちょっとしたことでも、身近なことでも、よろこんでもらったら、いい気持ちになる。

親切にされた時のことを思い出してみた。ある日の給食準備。休みの友達が台ふき当番だった。だから、だれも台ふきをする人がいなかった。私がやろうと思っていたら、友達に声をかけられた。

「やってあげる。」

親切にされたら、こんなうれしい気持ちになるんだと思いながら

「ありがとう。」

と言った。次は、友達や家族などに親切にして、いい気持ちにしたいなと思った。

それから少したったある日の給食の時間。またお休みの人がいた。友達に親切にされたお返しに、次は自分が親切にしようと思った。休んだ友達のかわりに、はいぜん台を出した。すると、友達は「ありがとう。」

と言ってくれた。その時、親切にされるだけでなく、親切にしてもいい気持ちになるんだなと思った。

やさしい気持ちをもって相手の事を考えると、自然に親切ができる。やさしい気持ちをもって、これからも、だれにでも親切にしようと思う。

---

## みんなの住む、まちのため

南大沢小学校 4年 山崎 陽菜乃

---

私の小学校には、毎朝、門で登校を見守ってくださるおはよう隊の方がたがいる。

ある日の帰り道、そのおはよう隊のおじさんが、ボランティアのゴミ袋を持ち、道のゴミを拾ってくれている姿を見た。最初はあまり気にしていなかったが、母が「いつもきれいにしてくださり、ありがとうございます。」と声をかけていて、「そうか、おじさんは、私たちが住む街をきれいにしてくれているんだ。ありがたいな。」と思うようになった。

それから、あらためて登下校の道を見つめると、植木の中におかしの袋や、排水溝にタバコのすいがら等が捨てられていることに気がついた。

年に数回クリーンデーに参加したことはあったが、自分だけでゴミ拾いをしたことはなかった。母に「私も街のゴミ拾いをしたい。」と相談し、市役所でボランティアのゴミ袋をもらい、ゴミ拾い用のトングを2本買った。

さっそく、母と登下校中にゴミ拾いをした。中には、だれかの食べかけのゴミや、よごれているゴミもあって、少しいやな気持ちになった。しかし、拾っているうちに「ゴミ拾いをしてくれてありがとう。」と声をかけてくれる人もいて、寒い日でも心が温かくなった。

ゴミを見つけて袋に入れるのが日に日に楽しくなってきた。母と「お宝ゲーム」と言って、ゴミをお宝に見たてて、どちらが沢山お宝をゲットできるか競争した。ゴミ袋がいっぱいになるとうれしくなった。

八王子市はゴミ排出量が少ないランキングで1位だが、家の前の公園は毎朝、ゴミがちらかっているのが残念だと思う。ゴミを捨てる人がへってほしいと思うと共に、ゴミ拾いを通じて、ありがとうと言われて、うれしくなったり、知らぬ間にゴミ拾いをしてきている人に感謝をしたり、人の役に立てたり、人の心を思いやるのが親切なのかなと思った。

---

## その一言と行動で、

第八小学校 5年 小林 紗知

---

私の考える親切とは、親切にされた相手が嬉しかったり気持ちが良くなったりすることだと考えます。なぜかというとし、けがをして痛くて歩くことができないとき、友達に心配されて嫌な気持ちになる人はいないでしょう。

以前、私がおにごっこをしていたとき、ぬかるんでいる校庭を歩いた足でコンクリートの道を歩いたせいか、コンクリートの道がすべりやすくなっていました。ですが、私はそれに気がつかず、すべって転んでしまいました。コンクリートの道で転んでしまったため、足がじんじんと痛くて歩くための力もありませんでした。そのとき、友達が脇から手をとおして、私をたたせて、肩を組んで支えてくれました。また、「大丈夫。」や「がんばれ。もう少しだよ。」と声をかけてくれました。私は足が痛いことを忘れてしまうほど嬉しくて涙がこぼれそうになりました。

ですが、もし友達がたすけていなかったら、私は痛くて歩けないので保健室にも行くことはできなかったでしょう。そのあとは想像すらできません。きっと悲しくて残酷な気持ちでしょう。友達が親切をするだけで、こんなにも気持ちが変わります。

私は、この体験で親切は、優しい言葉と行動だと考えました。なので、これからも私は友達に親切をしたり、友達がやっている親切を見つけていこうと思いました。

---

## 親切にするためには

館小学校 5年 樋口 開

---

みなさんはどんな時に親切だなと感じますか。ぼくは、何かをやってくれた時や、はげましてくれた時など、たくさん親切と感じた時があります。

その時はとてもうれしかったです。けど、親切にされすぎた時は、「特別扱い」されている気がして、少しいやな気分になりました。

こんなふうに、少しいやな気分になった時もありましたが、うれしかったことの方が多いので、これからも色々な人に親切にしたいと思います。なので、「親切」はどんなことか、どうしたら親切と感じてくれるかを考えてみました。

ぼくは、親切は、した方の立場は、相手が喜ぶことを考え、その考えたことをすることだと思います。



そして、された方の立場は、うれしくなること。その理由は、手伝ってくれたり、はげましてくれたからだと思います。けど、した方の方がこう思っても、された方の方がそう思わないと親切とは言えないと思います。

次に、どうしたら親切と感じてくれるか考えてみました。やっぱり、手伝ってくれた時や、はげましてくれた時だと思います。そして、これは、だいたいの人がこう思っていると思うので、はげましたり、手伝ってあげたいと思います。けどやりすぎるといけないので、相手のことを考えながら、親切にしてあげたいと思います。

みなさんは人に親切にするためにはどのようなことをすればいいと思いますか。ぼくは、簡単にいうと、自分がうれしいと思うことを、他の人にすればよいと思います。

---

## 私の中の親切とは

城山小学校 5年 浅香 柚希奈

---

親切とは、ふだんの生活の中で相手の手助けをする事だと思います。私は、ボランティアの方々は、とてもすごいと思います。なぜなら無償にもかからわず私達の登下校を見守ってくださっているからです。

私が2年生のころ学校にちこくしそうになってしまい、走って横断歩道をわたっていたら、ボランティアの方に呼び止められ、「危ないから気をつけてね。行ってらっしゃい。」と声をかけてもらいました。それからはなるべく早く家を出るようになり、そして信号のない横断歩道は、気をつけてゆっくりわたるようになりました。これからも、ボランティアのおじさん、おばさんが言ったことをよく聞き、わすれないようにし、事故にあわないようにしたいです。そして、ボランティアのおじさん、おばさんが元気だと私も元気になり、今日からまたがんばろうという気持ちになります。

私はこの経験をもとにしょうらい、ボランティアの方のように、親切な心を持って人助けをしたいです。

---

## 優しい行動

城山小学校 5年 江上 奈那

---

親切とはしてもされても気持ちの良い事だと思います。

私は親切の意味を調べました。

意味は「思いやりがあること、人のために何かをすること」たしかに親切な人はこういうことを当たり前のようにするなと思いました。

時々ですが、私も親切にする時があります。その時に、「ありがとう」と言われると心が温かくなりこの人に親切にして良かったなと思います。逆に親切にされた時には、優しい人だなと思ったり、なんでこの人は何にも知らない人にこんな尽くせるのだろうと疑問に思うこともありました。親切は、知らない近くにいる人だけじゃなくて家族や身近な人にやるのも良いと思います。普段一緒にいるから相手のことを知っているかもしれないけど親切にすると更に相手のことを知れると思いました。

親切は日常の中で自然にやっていることなのかなと思います。

私はこの作文を書き、親切を今まで以上にやろうと改めて思いました。

---

## 人それぞれの親切

川口小学校 5年 西田 奏海

---

私にとって親切とは、むずかしいものであり、人を喜ばせることができるものでもあります。

私は、以前、友達が、

「おなかがいたい。」

と言っていたので、

「保けん室に行こう。」

と言い、友達を保けん室に連れて行こうとしたことがあります。すると、その友達に、

「いい。」

と言われてしまいました。その時私は、良かれと思ったことが相手にとっては、「めいわく」になることもあるんだと気付きました。それから、友達の手助けをする時に、「これは本当に親切なのかな。」「相手が喜んでくれるのかな。」と考えるようになりました。それとは反対に親切で人を喜ばせることができることにも気が付きました。以前バスでおじいさんに席をゆずった時に、

「ありがとう。」

と笑顔でお礼を言われたことがあります。その時、私は、うれしくて思わず、笑顔になりました。

だから私にとって親切とは、むずかしいことであり、人を喜ばせることができるものでもあると思います。相手にとってこれは本当に親切なのかを考え、積極的に親切な行動をしていきたいです。

---

## わたしの親切

川口小学校 5年 堀江 華加

---

わたしは、今でも心に残っている親切にされた出来事があります。

習字の日、私は習字道具を忘れてしまいました。隣のクラスの人に借りに行こうとしたとき、隣のクラスは授業が始まろうとしていました。私は入りづらくて、廊下をうろちよろしていました。するとある女の子が

「どうしたの。」

と声をかけてくれました。事情を説明して、習字道具を貸してもらいました。その時私も、こんな人になりたいなと思いました。

わたしが考える「親切」な行動とは、相手がありがとうと思える行動です。親切にするとき大切なことは、相手にデメリットがないことだと考えています。なぜなら、相手にデメリットがあると逆に迷惑をかけてしまうからです。

これから、相手に迷惑がかからないかよく考えてから、親切にしてくれた人のように人助けをしたいです。

---

## 困ってる人がいたら親切にしよう

川口小学校 5年 山田 理央

---

わたしは、今でも心に残っている親切にされた出来事があります。

私が3歳の時、家族とお出かけに行ったら迷子になってしまいました。ある夫婦がわたしが迷子になっていると分かって、迷子センターに連れて行ってくれました。おかげでわたしは、無事、家族と再会することができたのです。今では、見ず知らずの人に親切にできるなんて、すてきな夫婦だなと思います。

わたしが考える「親切」とは、自分もありがとうという気持ちになり、相手も親切にして良かったなと思う行動です。そのため相手の気持ちや言い方を考えることが親切にするときに大切なことだと思います。

これから困っている人がいたら、親切にしたいです。そしてそのとき、ちゃんと言葉を考えてから言うようにしていきたいです。

---

## 広がっていく親切な心

由木西小学校 5年 小林 倅太

---

5年生の2学期、階段掃除をしていた時だった。ある友達が、「ほうきを片付けようか？」

と言って、ぼくのほうきを片付けてくれた。その時、ぼくの心の中が、とても温かくなった。ぼくは、「とてもやさしいな。」と、心の中で感じた。また、次は自分がいろいろな人に親切にする番だと思った。なぜなら、ぼくが感じた心の中の温もりをいろいろな人達にも感じてほしかったからだ。

そういった出来事があった数日後。ぼくがバスで学校から帰った時のことである。お年寄りのおばあちゃんがいたので、自分が座っていた席をおばあちゃんに、

「どうぞ。」

と言って、ゆずってあげた。そしたら、おばあちゃんが、

「ありがとう。やさしい子だね。」

と言ってくれた。ぼくは、おばあちゃんが席に座れてよかったと思った。また、「早速、親切にできた。」と思って、とても嬉しい気持ちになった。

ぼくが思う親切とは、親切をした方も、された方も、心が温かくなることだと思う。親切をした方は、相手に喜んでもらえて、何だか自分も嬉しくなるし、親切をされた方は、「次は自分が親切にしよう。」と思えてくると思った。親切をくり返し行うことで、いろいろな人達の心が明るくなるはずだ。「次は自分が親切にしていこう。」と思う心が広がっていけばいいなと思う。

---

## 「親切」について

館小学校 6年 盛岡 寿喜

---

ぼくは、親切について考えてみました。ぼくは、親切に出来た事も、出来なかった事も両方ともあります。

まずは親切に出来た事です。ぼくが3年生の頃、じゅくに行き始めました。そこへはバスで行く事もありました。ぼくはその時に、お年寄りに席をゆずってあげる事ができました。

次に、親切に出来なかった事です。同じようにバスに乗っている時、席をゆずってあげる事ができませんでした。どうして同じ事なのに、出来た日と出来なかった日があったのだろうと考えてみました。それは、出来る日は、自分の心に少しだけ、よゆうができ、勇気を出せたからだと思います。逆に、出来なかった日は、はずかしくて、思い切って勇気を出す事が出来なかったからだと思いました。そう考えると、親切というのはちょっとした勇気を出すか、出さないかで違ってくるのだと思います。これからは勇気を出して、親切に出来る日を多くしたいです。

お母さんからは、「人に親切にすれば、相手も自分に返してくれる」と言われています。おたがいに、「勇気」と「ありがとう」の気持ちをもって、「親切の交かん」が出来ればけんかやいじめも無くなると思います。

ぼくは、残りの小学校生活だけではなく、大人になっても、親切の交かんを続けたいです。そして、けんかやいじめが無くなるようにと願っています。

---

## 友達からの思いやり

城山小学校 6年 小野寺 和真

---

僕は昔から、思いやりとは何だろうと、つくづく疑問に思ったことがあります。いくら考えてもその答えは思いつきませんでした。僕にその答えとなる出来事が起こりました。

週に一度、学校で委員会があり、帰りがおそくなることが多々ありました。だからそんな時のために、いつも帰りのしたくは済ませておくようしていました。しかし、その日は授業の終わる時間がおくれ、急いで委員会に行ったため、帰りのしたくが出来ませんでした。そして委員会が終わり、僕は帰りがおそくなるのが悔しくなりました。その後自分の教室の戻ると、なんと帰りのしたくが終わっていました。ランドセルを見るとランドセルの上に紙が置いてありました。その紙には帰りのしたく終わらせておいたよとよく見たことのある字で書いてありました。僕は誰が書いたのか考えました。すると、いつもよくいっしょに遊んでいる友達の字でした。その時僕は、友達が僕のためにしてくれたことが嬉しく、あたたかい気持ちになりました。

僕は、相手のことを思いやる気持ちが親切だと思い、友達が困っていたら助け、思いやり、協力していきたいです。

---

## 私を感じた親切

城山小学校 6年 小俣 優有

---

私は、習い事の帰り道にバスに乗っていました。するとバスのななめ前の席の人のスマホがなっている事に気付いて、声をかけようかまよっていたら、となりの席の人が気付いて声をかけていて、私はその人の事をとても「すごいな。」と思いました。

日常で、自分から進んで人のために行動をできる人は恐らく、自分もそういった親切を受けた事があるから、その親切を進んでできるんだと思います。

それと、自分から進んで親切ができるようになると、自分もうれしく感じたり、相手もうれしい気持ちになれると思いました。

私も今から人のために勇気をもって行動したり、相手の気持ちを考えて行動したりできるように、人とたくさん関わりをもてる大人になりたいです。

## ありがとうの一言で

由木西小学校 6年 湊 陽子

みなさん、「ありがとう」と言われるのは好きですか。私は「ありがとう」と言われるのが大好きです。ものをあげた時に言われる「ありがとう。」手伝った時に言われる「ありがとう」親切にした時に言われる「ありがとう」などいろいろな「ありがとう」があります。その中でも私は親切にした時に言われる「ありがとう」が一番大好きです。その中でも特に「ありがとう」と言われてうれしかったことを紹介します。

1つ目は中休みなどにみんながそうじをしていないところをして先生などに「ありがとう」と言われてうれしかったです。みんながやらないところをきれいにして良かったなと思いました。

2つ目は教室を移動する時、みんなが通りやすくなるようにとびらを開けたり自分が一番に理科室や図書室に入ったら窓を開けたり暖房をつけて部屋を暖かくなどほかのみんなが過ごしやすいうちにや、小さいことをした時に言われる「ありがとう」もうれしいです。

3つ目は習っているバレーボールでみんなが練習しやすいようにボールをわたしたり、監督がトスをあげやすいようボールを移動させたりなど学校以外の人に言われる「ありがとう」もうれしいです。

私はみんなのためにボールを拾ったり、部屋を暖かくした分「ありがとう」と言われて毎回やって良かったなと思います。友達だけではなく、いろんな人に「ありがとう」と言われるようにみんなに親切にしたいです。

---

## 手助け

南大沢小学校 6年 神谷 ひまり

---

私は、友達に助けてもらったことがあります。

私が、週番の時に班の子が全員休んでしまって一人で仕事をやることになり大変だと思いました。けれど、友達が「手伝うよ」と声をかけてくれました。私は、友達に声をかけてもらえてすごくうれしかったです。その後、友達のおかげで最後までスムーズに仕事を終わらせることができました。友達のその一言で私はうれしくなったし助けられて親切って相手も笑顔になれてすごくいいことだと感じました。

私が友達を手伝ってあげた時に友達から、「ありがとう」と言ってもらえました。私は、「ありがとう」という言葉が好きです。その一言で相手も自分もうれしくなるので友達から言われた時はすごくうれしかったです。

私は、おたがいに手助けし合い協力してやる事によってみんなが笑顔になるので助け合うことは大事だと思いました。

---

## 親切のお礼

松木小学校 6年 本間 小雪

---

親切ってなんだろうと考えた時、私にとっての親切は私達の周りに当たり前のようにあってだれかを笑顔にすることができればそれはすべて親切なのだと思う。

私はつい最近、迷子の子を見つけた。

私は助けてあげようかなと思ったけど急いでいてそんな余裕もなかったし、そこは人通りも多く目の前には交番もあるからきっと大丈夫だと思ったため、一度通り過ぎた。

でもやっぱり私は心配になり振り返ってみた。するとその子は地べたに座りこんでしまっていた。そう、だれも助けてくれていなかったのだ。このままではきっとずっと一人だろうと思った私は声をかけてみることにした。

色々話を聞くと、1時間近く親とはなれているそうで、そのために周りに親らしき人も見当たらないから交番に届けることにした。交番に行くと迷子の子の母親を見つけた。私は急いで交番を出たが母親はお礼を言っていて私はちょっとほころしかった。

でも次は私が助けられることとなったのだった。



私は手を骨折してしまい、靴紐も1人では結べなくとも不便で困っていた。いつもはスリッポンをはいていたのだが今日は間違えて紐靴をはいてきてしまい紐はどんどんゆるくなっていき、とうとう紐はほどけてしまった。私は塾にいたからだれかに頼めばよかったのだけど人に頼む勇気もなくお願いできなかった。でも、紐がほどけている事に気付いた先生が紐を結んでくれたのだ。

親切は人にやった分自分にも返ってくる、だから人にしてもらった分自分も親切にするべきなのだと思う。親切は私達の周りに当たり前のようにある。だから私はこれからもたくさんの人達に親切にしていきたいと思いました。



## 5.令和3年度親切表彰 受賞者インタビュー

---

令和3年度親切表彰では、個人の部で16名、団体の部で5団体の皆さんが表彰されました。  
その中で、新聞記事に取り上げられるなど、特に顕著な活動を行った方にインタビューを行いました。



令和3年度

親切表彰(団体の部)受賞

本立寺

おいかわ いっしん  
住職 及川 一晋 さん

令和3年4月から、新型コロナウイルスワクチンの接種予約にインターネットなどが使えず、身近に手伝う人がおらずに困っている高齢者などへ、申込手続きのサポートを行ったことについて表彰されました。



——サポートを始めたきっかけを教えてください。

新型コロナウイルスのワクチン接種の予約が始まり、自分自身の両親にワクチンの接種券が届いたことがはじまりです。両親もインターネットでの予約が難しく、私が代わって予約を行いました。その後、日課の読経をしながら、ふと、「きっと他にも困っている人がいるはず」と思ったんです。すぐに寺につとめる僧侶にお寺の掲示板に張り紙をするよう指示しました。

実は本立寺は境内に入らなくてもお寺からの情報を見ただけできるよう、まちなかにも掲示板を置いているんです。そこにも同じように張ったところ、誰かが張り紙の写真を撮って、SNSで「こんな取り組みをしているお寺がある」と発信してくれて。それをきっかけに新聞社の方が取材に来られました。そこから他の新聞社、テレビ局などにも取り上げていただき、私たちの取組を皆さんに広く知っていただきました。

——どのくらいの方が来られましたか？

最終的には50人を超える方のお手伝いをしました。当初は檀家の皆さんや地域の方を想定していたのですが、SNSや報道の効果で、ほかの地域からもたくさん来られました。遠いところだと横浜市などの方からもご連絡をいただいたんですよ。



——**実際のサポートはどのように行われたのでしょうか。**

皆さんの接種券を確認しながら、希望の日時や会場を伺って、お坊さんが自分たちのスマートフォンやPCで予約を行いました。遠方の方など、お寺に来られない方には電話やファックスも使っていました。よくお話を聞いていくと、八王子市と予約方法が異なる場合も。その都度自治体のホームページなどで確認して、丁寧な対応を心がけていました。

お寺に来られた方は皆さん、予約ができずに、不安な思いを抱えている方ばかり。皆さんの不安を解消できるよう、きちんと予約完了までお手伝いしました。安心して帰られる様子を見られたり、感謝のお言葉をたくさんいただいたりして、やってよかったなと思っています。ですが、一番の成果は、今回のお手伝いがお坊さんたちの気づきにつながったこと。自分のためではなく、誰かのために行動する心、人に寄り添う心の大切さ……そんな気づきを得られたのではないかな、と思います。また、普段お寺に来られない方にもたくさん来ていただいたので、そういった皆さんとの交流も、彼らの学びのきっかけにもなったのではないのでしょうか。



3回目のワクチン接種予約のサポートも

——**さまざまな地域活動にも取組まれているとお聞きました。**

地域のコミュニティづくりに取組んだり、川口町のお寺でも住職を務めているので、川口地域の里山保全活動を行ったりしています。2年前からは、八王子市が行う子どもの居場所事業の一環として、学童に申し込んだけれど入れなかった方を対象に、社会福祉協議会と協力して本立寺で子どもたちの受け入れを行っています。メディアにも「現代版寺子屋」として取り上げられたんですよ。

お寺に対して、「入りにくい」というイメージを持つ方も多いと思います。ですが、お寺も地域の一部。地域の皆さんに親んでもらえる場所や関係を作っていくため、「お寺だからこそできること」を軸に取組んでいます。すでに新しいアイデアもいくつか浮かんでいますが、大切にしているのは30年後、50年後の子どもたちが暮らしやすいまちをめざすこと。「今が良ければいい」ではなく、未来の子どもたちのために今からできることに、これからも挑戦していきたいですね。



令和3年度  
親切表彰(個人の部)受賞

秋葉台小学校2年生

のうしよう	ゆうへい	はせがわ	かいり
能生	悠平	長谷川	翔龍
さん	さん	さん	さん
つだ	たくみ	たかはし	あらた
津田	匠	高橋	新
さん	さん	さん	さん



秋葉台小学校の4名は、令和2年11月(当時小学1年生)に、車いすに乗っていた榊山美賛さんに声をかけ、手助けをしたことで表彰されました。後日、榊山さんがお礼を言いに小学校を訪ねられ、この出来事は新聞記事でも紹介されました。

— どうして声をかけてみようと思ったの？

「病院のスロープの前で止まっていて、困っていそうだなと思ったから声をかけてみた」  
「よく知っている場所だったから、車いすだと登りにくいかもしれないと思って、手伝ってあげたよ」  
「車いすを押したのは初めてだったけど、思ったよりとっても軽かった！」

— たくさん新聞に載っていたね。

「車いすのお手伝いをした時、名前を伝えていなかったから、お礼に来てくれてびっくりした」  
「その時にもらった手袋、今日も使ってるよ！」  
「家族や学校の先生も、『すごいね』って言ってくれてうれしかったな」

— 表彰状を受け取ったときのこと、覚えてるかな？

「覚えてる！表彰状をもらったのは初めてだったから、緊張した」  
「ぼくも初めてだったからうれしかった。記念写真も家に飾ってあるよ！」

— ほかにも、親切なことってしたことある？

「妹におやつを譲ってあげた。あとは家でお手伝いもしてるよ」  
「ころんじゃった友達に、『大丈夫？』って聞いた。これも親切かな？」

— たくさん親切なことをしているんだね。

みんなは、これからどんな親切ができそうかな？

「友達に優しくしたり、家族のお手伝いをする事かな」  
「電車やバスでお年寄りに席を譲ったりできると思う！」  
「困っている人がいたら、助けてあげたいな」



学校には新聞記事や子ども達の行動に感銘を受けた方から送られた作品も

子どもたちに車いすを押してもらった榊山さんにお話を伺いました。

## 今も続く 温かな感謝の気持ち

さかきやま みさ  
榊山 美賛 さん

交通事故で右半身が不自由になってから、約9か月後のことでした。子どもたちに出会ったその日は体の調子がとってもよかったので、初めて一人で車いすを出かけてみたんです。そうして意気込んで出かけたものの、想像以上に体力が落ちていることに気が付きました。病院前のスロープがなかなか登れない、そんな状態にとってもショックを受けてしまって……その時、子どもたちが声をかけてくれました。私はとにかくいっぱいいっばいいっばいで、彼らが近づいてきたことにも気が付いていなかったんです。突如後ろから小さな子どもの声が出て、私が驚いているうちに車いすを押して手伝ってくれました。スロープを登り切り、改めて彼らの姿を見ると、そこにいたのは黄色い帽子を被った小学1年生の子どもたち。その時の私には、まるで天使のように見えました。



私は少し変わった機種の子車いすに乗っているのですが、機種の新しきからまちなかで皆さんの目に留まることも多くて。そんな中、物珍しきからではなく、「困っているそうだな」と思って声をかけてくれたことがとても嬉しかったですね。今も、駅に行くについ、みんなの姿を探してしまいます。現在はコロナ禍で外出もあまりできない状況ですが、また会えたらいいな、と思っています。

私にとって、この出来事は人生における大きなターニングポイントとなりました。もしあの日、彼らに助けられていなかったら……今頃どんな風に過ごしていたかわかりません。すでに1年以上前の出来事ですが、当時の温かな感謝の気持ちがずっと続いていて、今でも応援してくれているような気持ちになるんです。今の私が前向きに、たくさんの方に挑戦できているのも、彼らのおかげ。困難にぶつかることがあっても、それを乗り越える力になってくれています。まだ小学2年生の彼らは、これからどんどん成長していきます。彼らに負けないように、そしていつか、彼らが大きなターニングポイントを迎えるとき、エールを送ってあげられるように、私も成長していきたいです。





## 6. 資料編

---

## 八王子市親切会定款

### (名称及び事務所)

第1条 本会は、八王子市親切会と称し、事務所を八王子市役所内におく。

### (目的)

第2条 本会は、市民生活の中に精神運動を通して親切心の発揚をはかり、明るい社会環境をつくり、住みよい八王子市の建設に寄与することを目的とする。

### (事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 親切行為者の表彰
- (2) 親切行為者の発見と調査
- (3) 親切精神の普及活動
- (4) 親切募金箱の設置
- (5) 親切傘の無料貸出
- (6) その他本会の目的達成のために必要な事業

### (賛助会員)

第4条 本会の目的、趣旨に賛同して入会した個人、団体及び法人を賛助会員とする。

### (会費)

第5条 賛助会員は、以下に定める会費を納めるものとする。

個人会員、年間1,000円

団体会員、年間1,000円

法人会員、年間3,000円以上

2 既納の会費は返還しない。

### (入会)

第6条 本会に入会しようとするものは申込書を会長に提出しなければならない。

### (退会等)

第7条 賛助会員は、次の場合は退会したものとみなす。

- (1) 本人から退会の申出があったとき。
- (2) 死亡又は団体、法人が解散したとき。
- (3) 理由なく会費を1年以上滞納したとき。

### (役員)

第8条 本会に、次の役員をおく。

会 長	1名
副 会 長	5名
顧 問	3名
理 事	若干名
監 事	1名以上

(役員を選任)

- 第9条 会長は、八王子市長とする。
- 2 副会長は、会長が総会の承認を得て選任する。
- 3 顧問は、総会の推薦により、会長が委嘱する。
- 4 理事及び監事は、会長が選任する。

(役員職務)

- 第10条 会長は、本会を代表し、会務を統轄する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を行わなければならない。
- 3 顧問は、会長の諮問に応じ、会務に関し助言を与えることができる。
- 4 理事は、理事会を組織して事業の執行を図る。
- 5 監事は、会の会計及び会務の処理を監督する。

(役員任期)

- 第11条 役員(会長を除く。)の任期は、各団体代表にあつては代表者の交替時までとする。その他にあつては、原則として2年とし、再任を妨げない。
- 2 役員は、任期満了後も後任者が就任するまでその職務を行う。

(会議)

- 第12条 本会の会議は、総会と役員会とする。
- 2 総会及び役員会は会長が招集する。

(総会の構成)

- 第13条 総会は、役員をもって構成する。

(議決)

- 第14条 総会の議事は、出席役員の過半数の同意をもって決する。ただし、可否同数のときは会長の決するところによる。

(総会の権能)

- 第15条 総会は、この定款に定めるもののほか、本会の運営に関する重要な事項を議決する。

(役員会の構成)

第16条 役員会は、会長、副会長及び監事をもって構成する。ただし、必要に応じて理事の出席を求めることができる。

(役員会の権能)

第17条 役員会は、次の事項について審議する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の運営に関する事項

(資産及び会計)

第18条 本会の資産は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 会費
- (2) 親切募金、寄附金品
- (3) 事業に伴う収入
- (4) その他収入

(資産管理)

第19条 本会の資産は、会長が保管する。

(経費の支弁)

第20条 本会の経費は、資産をもって支弁する。

(会計)

第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 本会の収入支出は、総会の承認を経て定め、事業報告、収支決算を作成し、監事の監査を経てその年度終了後、総会の承認を得なければならない。ただし、年度途中における収入支出予算の補正については、会長の専決によることができることとする。

(事務局及び職員)

第22条 本会の会務を処理するために、事務局をおく。

- 2 事務局に、局長及び職員をおく。
- 3 局長及び職員は、会長が任命する。
- 4 局長は、軽易な事項について専決することができる。

(委任)

第23条 この定款に定めるもののほか、必要な事項は会長が定める。

付 則

この定款は、昭和41年4月1日から施行する。

付 則

この定款は、昭和51年4月1日から施行する。

付 則

この定款は、昭和53年4月1日から施行する。

付 則

この定款は、平成9年4月1日から施行する。

付 則

この定款は、平成15年4月1日から施行する。

# しんせつの歌

作詩 平 賢次郎

作曲 串 田 明

行進曲風に ♩ = 120

なもーなき のべーの くさにさ え  
ちいーさな きれいな はながさ く  
あの一ひ あのとき あのまち で  
しみじみ しっ た しんせつ の  
はなをーさか そー さかせーま しょう

## 歌 詞

二、あなたの胸に この胸に

ちいさな きれいな 花がさく

いつでも どこでも 誰にでも

真心こめた 親切の

花をさかそう さかせましょう

三、あの町 この町 一ぱいに

ちいさな きれいな 花がさく

明るく きよく 美しく

みらいをこめた 親切の

花をさかそう さかせましょう



**八王子市親切会 60年のあゆみ**

編集・発行 八王子市親切会  
八王子市元本郷町三丁目24番1号  
電話 042-620-7401  
事務局 協働推進課

令和4年(2022年)3月